

《保利建設社から大切なお客様と、未来のお客様にお届けする情報誌》

# ほりけん 通信

平成26年  
3月31日発行  
Vol.3

4月号

発行人：㈱保利建設社  
系島市東1437-2  
TEL:092-322-4779  
FAX:092-322-4799  
Email: info@horikenshome.jp

編集長：保利千晴

## 社長コラム

4月といえば、新年度の始まりですね。  
何か大きく変わるといえば、そう消費税です！  
今月から『8%』。わかってはいたものの  
いざ上がれば負担は大きいですよ。

今から25年前の平成元年に初めて消費税3%が導入され  
当時高校生だった私にとって、すごく負担に感じた  
ことを思い出します。  
その8年後の平成9年に3%から5%へ引き上げられ、  
それから17年。とうとう今月から8%になります。

先月、『消費税が上がる前に市のごみ袋を買いだめする人が  
多いらしいよ』という話を聞いた私の母は  
大量にごみ袋を買ってきていました。  
ちなみに、私が住む福岡市のごみ袋は『価格据置き』みたいです。

私、2月に組合の旅行で「タイ」へ  
行ってきました。  
タイにはVAT(付加価値税)という日本の  
消費税にあたるものがあります。  
ちなみに税率は7%で内税です。

日本でも、タイでも税金は有効に使って  
もらいたいですね。

代表取締役 保利重勝



### 消費税



全てが値上がりする訳ではありません。  
家計のバランスを見直す、良い機会ですね。

### 見守り期



貯蓄をしやすい時期は「独身のとき」、  
子供が「小さいとき」、子供が「独立してから」  
とされています。  
子供の教育資金、自分たちの老後の資金、  
計画的に考えましょう。

### 社長の一人飯 日記



## ～タイ・バンコク編～

辛い物があまり得意ではない私  
タイ料理といえば、辛い物ばかりと思っていましたが  
意外にも全く辛い食べ物も沢山あります。  
初めてタイへ行った時は辛さよりも、料理の上に乗っている  
『パクチー』という香草が苦手で食べられませんでした。  
しかし今では、パクチーがないと物足りないくらいにまでなりました。  
『慣れ』って怖いですがね～(´\_`)



パクチーの「抗酸化作用」は  
なんと、大豆の10倍！  
食品の中でダントツだそうです！

毎月、「わたしたちを支えてくださる」職人さんたちをご紹介します。

## 戸丸塗装

住宅・ビル・マンション・店舗の  
塗装工事請負業



とまる たつじ  
戸丸竜治さん (43歳)

## 子供の頃の夢は『消防士』!!

社長：仕事を始めてどのくらい経ちますか？  
16年です。住宅・店舗・マンション等の  
塗装工事をしています。

社長：いつもお忙しいそうですね。  
ありがとうございます！  
私の仕事は、お客様との打ち合わせや見積もりが主なんです  
最近は現場で若手の育成にも力を入れてます！

社長：プライベートは、何をされてるんですか？  
趣味がカラオケなので  
…歌ってます(笑)

社長：子供の頃は何になりたかったんですか？  
消防士にあこがれてました。

社長：カッコイイですよ～、私もあこがれていましたよ！



## 生ゴミポイポイ

### 分解レポート

先月号で紹介しました『生ゴミポイポイ』  
の分解レポートです！



勝手口の外に、こんな感じで  
設置しています。



キャベツの傷んだ葉の部分や、お茶がらコーヒーかすも、  
毎日出る生ごみを入れました。

生ゴミポイポイを使い始めて約1ヶ月。  
中身はこんな感じです。蓋を開けて『ポイ』と  
入れるだけなので、本当に簡単！  
ニオイもありませんでした。



約1ヶ月経過



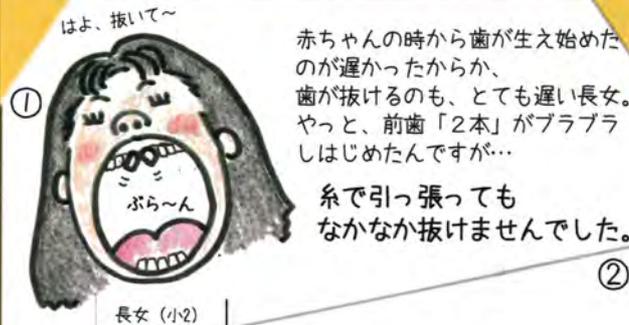
黄色の「DRY」が点灯  
していたので、  
まだまだ入れてもいい  
ようです！

「生ゴミポイポイ」  
無料モニターを募集致します！  
詳しくはお問い合わせ下さい。  
092-322-4779

## 漫画でひといき

### 『長女の試練』

絵：編集長



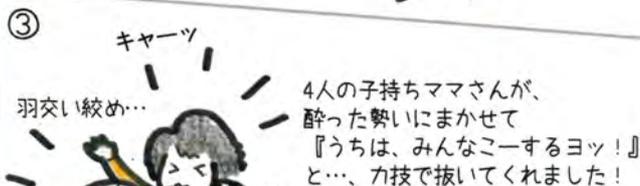
長女 (小2)

赤ちゃんの時から歯が生え始めた  
のが遅かったからか、  
歯が抜けるのも、とても遅い長女。  
やっと、前歯「2本」がブラブラ  
しはじめたんですが…

糸で引っ張っても  
なかなか抜けませんでした。

### 数日後…

長女の同級生とそのママたちが  
沢山遊びに来た時、長女の  
歯の話になり、なかなか抜け  
ない事を言うと…



おりゃー

おっ

パチパチ

さすがです！

ポンッ！

長女よ。次の歯も  
頼むことにしよう(笑)

## 編集後記

皆さま、こんにちは。もう春ですね～。  
卒業の春、入学の春…みなさまにとって、  
今年の春はどんな春でしょうか。  
私にとっては『花粉の春』です(\*.\*)  
2月(ｽｷﾞ)から7月(ｶｶﾞﾔ)と半年も花粉に左右されてし  
まいます！同じように、花粉でお悩みの方は沢山いらっし  
やるのではないでしょうか。  
ここで、私のこの時期欠かせないものをご紹介します！  
思います！

布団掃除機  
「レイコップ」



洗濯物すら外に干せないのに、  
布団なんてとんでもない！そこで、  
このレイコップ。ダニなどを紫外線  
でやっつけて、しかもホコリといっ  
しょに吸い取ってくれるんです。  
布団だけでなくじゅうたんや  
ソファも!!  
外に干せない我が家の必需品です。

編集長：保利千晴

マスクは  
手離せません。



糸島市  
N様ご夫婦

## ほりけんの 家づくり

ご主人：主  
奥様：奥  
保利：保

## お客様インタビュー ～第1回～



お子様は既に独立されて、3年前福岡市内のマンションから移り、糸島にご夫婦の自宅を新築されました。  
3年経って、改めてお話を伺いました。



### ～家づくりを考えるようになったきっかけを教えてください～

- 奥：まず糸島に引越してよかったことが始まりですね
- 主：最初は家を“建てよう!”とかではなく、中古でもよかったんだけど、いい物件がなくてね。
- 奥：最初は、友達から「糸島に引越してきませんか？」って話になってね。主人に（当時住んでいた）マンションを売っていい？って聞いたら“いいよ”っていうから、そこからバタバタ…
- 主：中古物件も見ただよね。
- 奥：そうそう。そこを買おうかと思ったけど、保利さんに見てもらったら基礎がない家ってことが分かったのでダメで…。細長い土地も見ただけど、国定公園内ってことで、各境界線から5mは建築ができなくて、そしたら細長い家になっちゃうんでダメで。初めは、週末だけ糸島に来るって感じて考えてたけど、やっぱり中途半端になっちゃうから、もうこっち（糸島）に住もうよってなってね。
- 主：そこからはトントン拍子に早かった！
- 保：糸島への移住を決断されて、当時お住まいのマンションを売却されたのも早かったですね。良いマンションだったんで売れるのも早くて。
- 主：そう！こっちは、2年くらいかけて、ゆっくり計画的に進めようと、ゆっくり構えとったもん(笑) そしたら、マンションがすぐに売れて、すぐに出らないかんくなって『えーっ?!』って感じて。でも、この土地に出会ってよかったよ。
- 奥：家を建てるのは、“結婚と一緒に”なのよ。勢いよ、きつと。
- 主：まあ、そのころは、なんていうか刺激がほしかったのかな～。当時の生活スタイルにも飽きていたし…。毎週、何をしてもなく、プラーっと天神に出かけていたけどそれも“もういっか”って思い出して。
- 奥：「初めての田舎暮らし」をやってみるか！ってね。
- 保：それが、きっかけだったんですね。

## 『人も土地も出会いました』

### ～弊社で建てる前に悩んでいたことはありますか？～

- 主：悩むも何も…そもそも考えてなかった(笑)
- 保：建てること自体、考えてなかったんですね(笑)
- 奥：そうそう！
- 保：最初にN様にお会いしたのは、インド料理の店でしたね。その時、「糸島で土地を探してください」って頼まれて、それから始まったんですね。
- 主：もう、「保利さんにいくしかない！」という流れだったから(笑)。ハウスメーカーのモデルを見るとか一切してないんですよ。
- 奥：たぶん、(ご主人は)ハウスメーカーに頼む意志は全くなかったと思います。
- 保：ハウスメーカーが嫌だなんて思われたのは、何か理由があるんですか？
- 主：ん～、やっぱり規格になっちゃうってというか…それ以上に保利さんのお付き合いが出来た以上、“保利さんは結構です”という訳にはいかない状況になってたからね。(一同笑)
- 主：そう、(私たちの)糸島移住計画実行委員会の副会長にまでなってたからね(笑)

### ～当初はどんな家が理想でしたか？～

- 主：まあ、リラックスできる感じの家かな。
- 奥：『みんなが集まる家』
- 主：あー、そうだね。僕ら、街中に住んでる時もパーティーが好きだったんですよ。だけど、狭いマンションだと限界がくるじゃないですか。だから、まあ“人が集まれる家”がいいかな～と。

- 奥：なんか、『地に足がついた生活もいいんじゃないか』って思ってきたお年頃だったっていうのもあったのかな。
- 主：もっと、はよ(家を建てることを)決めとけばよかったな～
- 奥：でも、この家を建てた時は(私たちにとっての)“タイミング”だったのかな。あるんですよ。その“時”が…。



夜のN様邸も幻想的で素敵でした。

## ～家づくりでめげそうになったエピソードは～

- 主：手続きが一番大変だったかな。  
開発許可、農地転用、自然公園法、確認申請…これに、  
お金はかかるは手間はかかるは・・・。
- 保：最初の段階の時ですね。
- 主：それを乗り切れれば、後はまあ楽しみに変わっていきましてよ  
(建築中の建物を)ここまで見に来て(大工さんに)差し入れ  
持ってきて…
- 保：決めることは、多かったですか？
- 主：そうだね、カタログから選ぶのは大変だったね  
二人とも仕事しながらだったし。
- 保：色とか素材とかを決めることが多かったっておっしゃって  
ましたもんね。  
めげそうになったエピソードはこんな感じですか？
- 奥：楽しかったから、めげてはないかな(笑)



この写真は、タイ・バンコクの「スワンパカード宮殿」の掘座卓です。こんな雰囲気掘座卓がご希望でした。

N様邸にアレンジして取り付けました。

収納すると、テーブルの天板がそのまま床面になるのが特徴です。



## ～弊社を決めた理由はなんですか～

- 主：うまく言えば“保利さんの人柄で決めた”ってことだよな。  
(一同笑)
- 奥：たぶん、相性があると思う。だっていくらタイが好き同士だからって、わざわざ(頼んで)造ってもらおうと思わないもん。
- 主：それは、正直なところだよな。
- 奥：タイ好きが一緒やった。好みが同じ、食べ物もそうだし、  
やっぱり安心できるよね～。  
同じ価値観で理解してくれる人とそうでない人といでしょ？  
主人が(家の)“あーゆー感じの…”といえば、  
わかってくれるし。通じるか通じないかだったら  
(家の仕上がりも)違ってくるだろうし。
- 主：保利さんは何でも調べてくれるじゃないですか。
- 保：そうですか(照)
- 奥：「できません」から入らないんですよ。『ちょっと調べて  
みましょう』とかね  
『何とかしましょう』とかって、言ってくると“あっ”て  
思う。そこかもしれない(笑)

## ～最後に弊社で家を建てる幸せになりそうな人はいますか。そして、その方に何かアドバイスをするとしたら？～

- 主：ここに遊びに来る職場の同僚とかかなあ。  
その人たちには『自分のライフスタイルを考え直して』  
って言うかな。  
『僕らみたいな選択肢もあるよ』って。オープニングパーテ  
したのも、そんな意味もあったんですよ  
『みんなどう？』って感じで。
- 奥：人も土地も出会いましたよ。



ご自慢の一階はリビングの中心に薪ストーブを置き、  
正面の窓からは、広いお庭が一望できる贅沢なスペースです。

## ～住んでからの感想は何かありますか～

- 奥：良いことも悪いこともあるな～
- 保：どうぞ、お願いします！
- 奥：一番の感動はね、窓を“ペアガラス”にしたこと！  
結露が全くないの。前のマンションの時は冬の結露が  
すごくて、結露取りが毎朝の日課だったの。
- 保：薪ストーブはどうですか？
- 奥：薪ストーブは上出来よね。木の調達は大変だけど、一番  
あったかいのよ。でも、今考えると初めて農作業とかして  
靴の泥を落とすような土間みたいなところが  
欲しかったなって。荷物を置いたりするところ。
- 主：ん～、これは住んでみてわかることだよな。でも、住んで  
みたら、いいところだよ。  
通勤には少し遠くなったけど(笑)



N様こだわりの2階。  
テーマは「ポップ」  
たまたま食べたお菓子の箱の色  
がイメージにピッタリだった  
そうです。黄緑色のクロスはな  
かなか珍しく、探すのが大変  
でしたが、よろこんで頂いた  
のでよかったです。



3年前のオープニングパーティの時の写真です。  
タイ好きのご夫婦ならではの…  
タイ料理でおもてなしをされて  
ました。家族で招待していただ  
きたのしいひと時でした！

インタビューのご協力  
ありがとうございました。

